

発行日：令和2年5月25日

「北中かわら版」は地域医療連携のための広報誌です

北陸中央病院理念

「人間愛に基づいた医療を通じて
社会に貢献します。」

基本方針

1. 安全には細心の注意を払い、安心の医療に努めます。
2. 心のふれ合いを大切にし、人権を尊重します。
3. 情熱と生き甲斐をもち、常に前進を図ります。
4. 小矢部市の中核病院として急性期と地域医療の共存を果たします。
5. 公立学校共済組合員や地域の人々の健康管理事業に力を注ぎます。
6. 健全な経営に努めます。

・北中かわら版は「あいの風ほくろく」が発行されない月に、不定期に発行します。



地域医療連携センターは、体制を変更後2年目を迎えることとなりました。藤堂センター長（第一内科部長）を中心とし牧野副センター長（副看護部長）、中島看護師、前田主任社会福祉士、桐社会福祉士が、入退院支援・相談業務にいつでも対応できる体制を取っております。

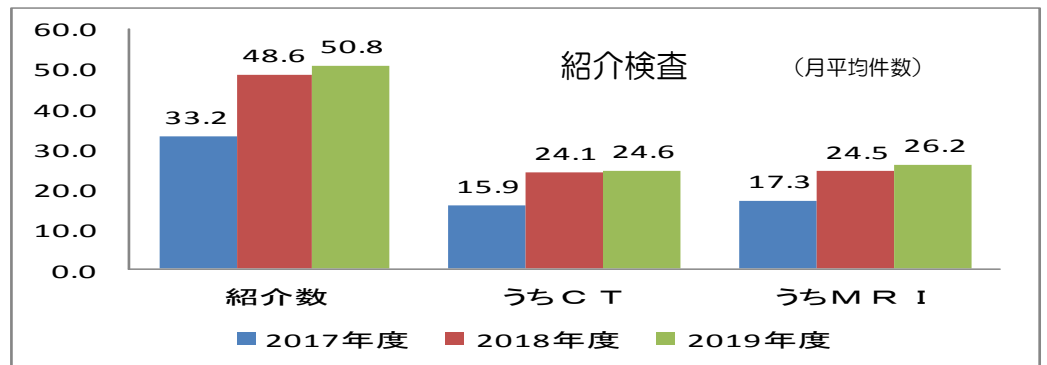
窓口業務では渡辺看護師と山口係員、寺田係員が正面受付左側で、紹介患者さんや診療相談の対応を行っております。これまで以上に医療・看護・介護・福祉の面からのサポートを行い、患者さんにとってより適切な介入・支援につなげていきたいと考えております。昨今の新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、面会制限や会議・相談の自粛を行うなか、安全・安心に留意しながらさらに連携を強化していきたいと考えております。

患者さんが安心して生活を送れるよう地域のかかりつけの先生方とこれまで以上に連携を強化し地域包括システムを進めていくよう努力して参ります。

2019年度延べ紹介患者数は、2,560名（市内1,674名、市外886名）そのうち入院された患者数は、364名（市内216名、市外148名）でした。たくさんのご紹介ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。



オダマキ



2019年度の紹介検査件数は609件（前年比+26件）でした。内訳はCT：295件（月平均24.6件）、MRI：314件（月平均26.2件）でした。当日の検査依頼にも迅速に対応いたしますので、お急ぎの場合は放射線技術科へ直接お電話下さい。

紹介検査をご依頼いただくときのお願い

日頃よりCT、MRI検査をご依頼いただきありがとうございます。検査をご依頼いただくときには、患者さんが新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の疑いが無いことを確認してからご依頼ください。

- ・COVID-19を強く疑った場合は、まずはPCR検査を優先してください。
- ・COVID-19疑い患者さんを検査する場合も、院内感染防止のため感染確定者として準備が必要です。また、検査後は2時間半部屋の換気が必要のため、検査ができない事をご理解ください。

2020年4月23日付けで新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する胸部CT検査の指針（Ver.1.0）がでています。

胸部CT検査の適応に関しては、①疾患に対するCTの診断能、②検査室の感染拡散の問題、③X線被ばくのデメリット、④地域の感染状況の4点を考慮して総合的に判断することが重要です。なお、国内のCOVID-19の状況は刻々と変化しており、本指針は、地域の感染状況や各施設のCTの活用状況により、柔軟に運用することが望まれます。

下記はその中から抜粋した内容です。

日本放射線専門医会
日本医学放射線学会
日本環境感染学会
日本感染症学会

原則、クラスター（疑い含む）集団へのスクリーニングとしての胸部CT検査は推奨できないとなっています。以下に理由を示します。

- 1) PCR検査が陽性のクラスター集団で、無症状例の46%、有症状例の20%に、CT陰性（偽陰性）例が存在する。
- 2) 特徴的なCT所見が報告されているが、他のウイルス性肺炎や特発性器質化肺炎、慢性好酸球性肺炎等の他疾患とのオーバーラップがあり、有病率の小さい集団においては、偽陽性例の影響が高い。
- 3) クラスター（疑い含む）の集団、すなわち濃厚接触者全員が対象となり、CT検査の対象が膨大となる。特にオーバーシュートが生じた際、対象者全員にCTを施行することは、診療体制に大きな影響を及ぼす。
- 4) COVID-19は接触・飛沫感染が主体であり、患者がCT室使用後に清潔整備ができない場合は院内感染をきたすリスクもあるので、CT室の使用には慎重をきすべきである。

- 5) CT機器の進歩によりX線被ばく量が低下しているとはいえ、被ばくのデメリットとCTによる肺炎の診断能の両者を考慮して、スクリーニングとしての正当性を評価する必要がある。

COVID-19肺炎のCT所見

- ※ 典型的なCT所見は次のようになります。
 - 1) 初期は片側性ないし両側性の胸膜直下のすりガラス影、背側または下葉優位
 - 2) 円形の多葉性のすりガラス影
 - 3) 進行するとcrazy-paving patternやコンソリデーションなどの割合が増加
 - 4) 器質化を反映した索状影の混在
- ※ 非典型的な所見は次のようになります。
 - 1) すりガラス影を伴わない区域性の浸潤影
 - 2) 空洞、境界明瞭な結節・腫瘤
 - 3) 小葉中心性の粒状影、tree-in-bud appearance
 - 4) 胸水（重症例ではみられることがある）

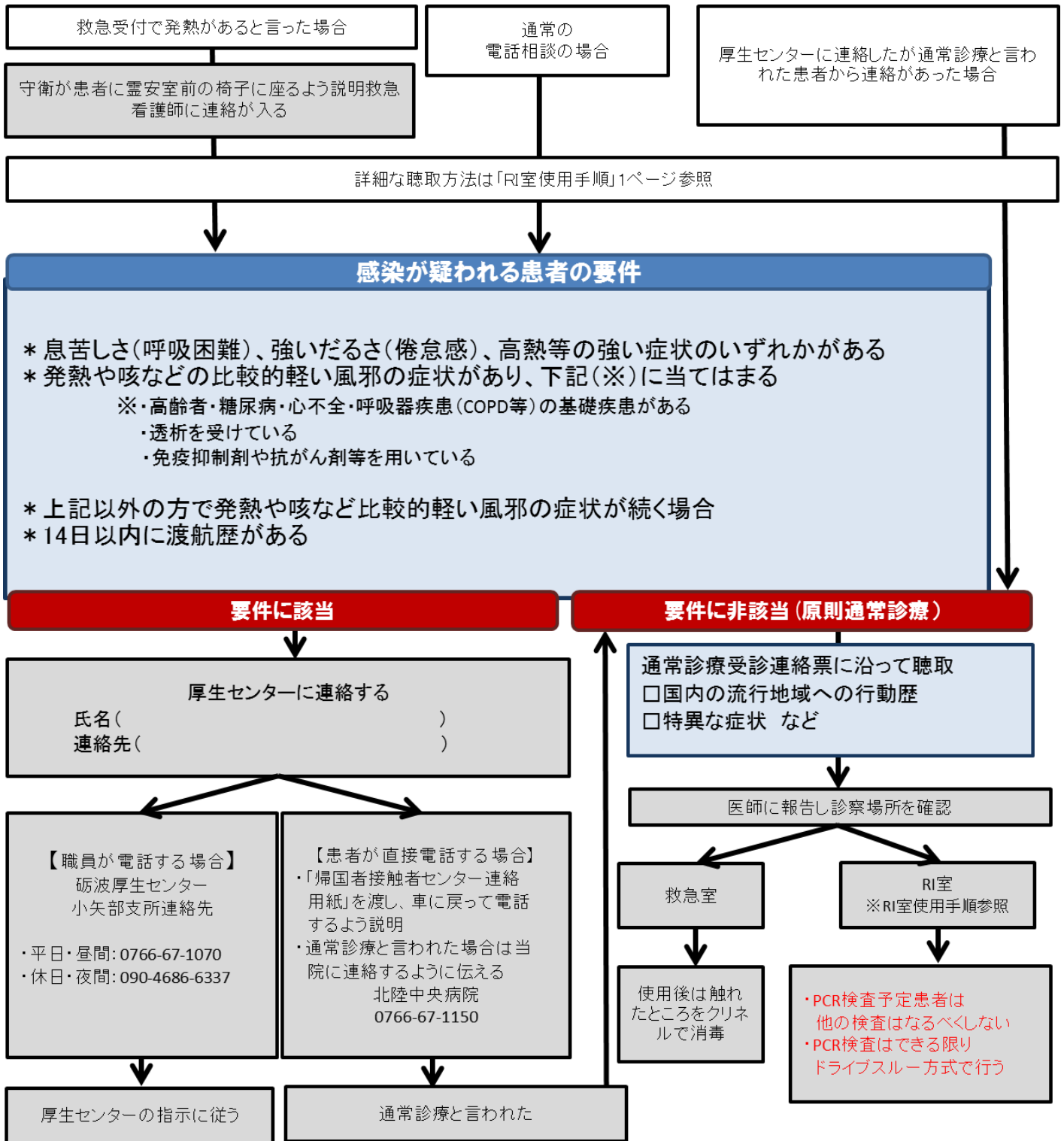
・CT検査をしても新型コロナウイルス感染の除外や確定診断にはなりません。

以上、よろしくお願いいたします。

当院では新型コロナウイルス感染症疑い患者さんには下記のようなフローシートを作成し、対応しています。感染が疑われる患者の要件などを改訂しました。厚生労働省の通達などにより適宜改訂しています。

新型コロナウイルス感染症の院内対応フローシート 救急用

2020.5.19 改訂



* 重症肺炎で動けない状態で来院された場合は、接触予防策でそで付きガウン・手袋、飛沫予防策でゴーグルなどを装着
 * 気管内吸引などエアロゾルが発生する処置をする場合は、N95マスクを装着
 * 疑い患者でCT検査をする場合は、使用後の換気のため2時間半使用できなくなる
 (CT検査をして疑いがなくなった場合は、医師の判断で換気の中断をすることができる)

ご案内

北中かわら版

発行日：令和2年5月25日

編集：広報委員会



公立学校共済組合
北陸中央病院

〒932-8503

富山県小矢部市野寺123

電話 0766(67)1150

FAX 0766(68)2716

おやべケーブルテレビでは、昨年に引き続き『健康サポート』番組を放送します。

放送：毎月 第3月曜日～1週間

放送時間：6:00、8:00、12:00、15:00、18:00、22:00

2020年度の年間スケジュール



第25回の小児科医長
今川智之先生



第26回の管理栄養士
藤木望由さん

回	放送	担当	氏名	タイトル
25	4/20~4/26	小児科医長	今川 智之	子どもの便秘
26	5/18~5/24	管理栄養士	藤木 望由	タンパク質をちょい足し！ フレイル予防
27	6/15~6/21	保健師	福田 満里子	「内臓脂肪を減らそう」 ～メタボを防ぐために～
28	7/20~7/26	医師会		
29	8/17~8/23	外科医長	守屋 真紀雄	下肢静脈瘤について
30	9/21~9/27	言語聴覚士	福田 有加	おいしく・楽しく・食べ続ける ために
31	10/19~10/25	看護師	笹嶋 友美	慢性腎臓病と言われたら ～どうしたらいいの～
32	11/16~11/22	医師会		
33	12/21~12/27	内科医長	中屋 雅子	～サルコペニアって何？～ 知れば得！強い体を作ろう
34	1/18~1/24	視能訓練士	横川 千賀	「子どもの視力の発達」 ～斜視・弱視について～
35	2/15~2/21	看護師	中村 香織	人生会議をしよう ～最後まで自分らしく生きるために～
36	3/15~3/21	皮膚科医長	高田 明子	皮膚科診療について（仮）



ホームページはQR
コードで検索出来
ます。